

第3回 生命科学セミナー

日時 令和6年6月3日(月) 17:30 ~ 19:00
場所 医学部実習棟 3階 P3 講義室
演題 ほ乳類の性決定遺伝子の隠れたエキソンの発見
演者 立花 誠 先生
大阪大学大学院 生命機能研究科 教授

要旨

ヒトを含むほ乳類が、いつどのようにしてオスまたはメスになるのか？その仕組みについては、古代から様々な議論がなされてきた。20世紀後半になると、分子生物学の勃興により、Y染色体にあると予想されたオス化遺伝子(=性決定遺伝子)のハンティングが世界中で始まった。転写因子をコードするY染色体上の遺伝子 *Sex-determining region Y (SRY)* が同定されたのが1990年である。翌年には、それが実際に性決定遺伝子であることが証明された。以降、マウスをはじめとする他のほ乳類でも続々と *SRY* が同定されてきたが、それらはすべて単一エキソン遺伝子であった。このため誰も「すべてのほ乳類の *SRY* は単一エキソン遺伝子である」ことを公然の事実として疑わなかった。ところが、数年前に私たちは、マウス *Sry* 遺伝子座には、30年間誰も見つけることができなかった“隠れた第2エキソン”が存在していること、そしてこのエキソンがオス化に必須の役割を持つことを見出した。本セミナーでは、*Sry* の第2エキソンの発見に至った経緯を紹介するとともに、それがマウスの性決定にどのような役割を担っているのかについて解説する。

*大学院授業(加藤担当分)として扱います
博士課程対象科目：細胞生物学Ⅰ(D6)

.....
連絡先

加藤 太陽

医学部生命科学講座(化学)

TEL: 0853-20-2349

E-mail: hkato@med.shimane-u.ac.jp

.....